

令和2年度

上勝小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○話す、聞く力を伸ばす言語活動を取り入れた授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 古田 有美	委員 校長: 寺井 孝文
	教頭: 四宮 桜 教務: 古田 有美 研修主任: 渡邊 美記

校長

寺井 孝文



【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や研修等, 様々な機会を捉え, 取組状況を行う。

◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み, 学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○まじめに学習に取り組み, 基礎学力が定着しつつある。 ●長い文章を正確に読み取ったり, 身につけた知識等を関連付けたりする力に個人差がある。	・学習の過程を通して習得した知識が, 既習の知識と関連付けられ, 他の学習の場面で活用することができる。	・教師の中心発問によって児童同士でねりあげていくようにさせる。 ・「お助けカード」を準備し, 様々な場面で活用できるようにする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○発表や表現活動に進んで取り組むことができる児童が多い。 ●自分の考えを表現することに自信をもてていない児童もいる。	・各授業における様々な場面において, 話型を活用しながら適切な言語活動により表現することができる。	・話型の活用方法を示し, 常時活動で使用させる。 ・ペア学習やグループ学習の機会を効果的に設定する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に意欲を持って取り組むことができている。 ●学習したことを客観的に捉えたり, 主体的に自分の生活に生かそうとしたりすることに課題がある。	・自分の学習状況をしっかり振り返り, 自らの課題を見つけて, 解決しようとするすることができる。	・振り返りシート等を活用し, 個々の振り返りをするだけでなく, 共有することによって認め合わせる。			

令和2年度 学力向上ロードマップ

